



紀宝町

議会だより

平成19年12月1日発行（第6号）



烏止野神社（鵜殿）

議 会 日 誌

平成19年7月～9月

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 7月10日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 21日 | 議会運営委員会、災害・環境保全対策特別委員会 |
| 13日 | 教育民生常任委員会 | 27日 | 熊野川改修促進期成同盟会要望活動（近畿地方整備局） |
| 18日 | 熊野川ダム湖下流団体協議会総会（新宮市） | 29日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市）
全員協議会 |
| 20日 | 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会（新宮市） | 31日 | 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 23日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（近畿地方整備局）
自治体議員研修会（津市） | 9月12日 | 議会運営委員会 |
| 8月1日 | 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動（財務省・
国土交通省）〔2日まで〕 | 18日 | 第3回定例会・第1日目 |
| 3日 | 井田海岸浸食対策要望活動（熊野市） | 19日 | 第3回定例会・第2日目、教育民生常任委員会 |
| 7日 | 井田海岸浸食対策要望活動（紀宝町） | 20日 | 第3回定例会・第3日目 |
| 9日 | 港湾対策特別委員会、井田海岸浸食対策特別委員会 | 21日 | 第3回定例会・第4日目、議会運営委員会 |
| 16日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（中部地方整備局） | 24日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（財務省・国土
交通省）〔25日まで〕 |
| 20日 | 河口大橋建設促進議員連盟理事会（新宮市） | 28日 | 紀南病院組合議会（御浜町）
紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会（御浜町） |

9月定例会 一般質問

(要約)



榎本 健治 議員

・定率減税廃止に伴う保育料について
・行財政改革について

定率減税廃止に伴う保育料

議員

定率減税廃止に伴い、来年度の保育料についてどのような影響が出るのかお伺いいたします。

担当理事

国の三位一体改革の一環として、平成十九年から税源移譲が行われ、国の税収が減り、地方の税収が増えることとなりました。保育料の算定に当たっては、所得税及び市町村民税等の課税世帯に対して、その金額の区分に応じ、算定されることとなっております。今回の税制改正は税率区分が細分化され、複雑化します。

議員

平成十九年第三回紀宝町議会定例会は九月十八日に開会しました。

第一日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第三回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第二日目の十九日及び第三日目の二十日にわたり十一人の議員が、諸課題について当局の考え方を質し、活発な議論が交わされました。議案の審議では、当局から条例の一部改正案件、指定管理者の指定案件、平成十九年度一般会計補正予算案件並びに国民健康保険特別会計補正予算案件など八議案が提案され、それぞれ可決しました。第四日目の二十一日には、平成十八年度一般会計決算並びに五つの特別会計の決算を認定。続いて、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出した後、四件の請願を採択し、この請願等に基づく意見書五件を可決し、閉会しました。

保育料の負担が増えるのか、減るのか。

担当課長

今のところ全体で百六十万円位の減額になるであろうと試算していますが、具体的には十月ぐらいにシミュレーションが出ます。

議員

定率減税廃止に伴い来年度から保育料が下がる世帯が多いということですね。僕は町長の三千円の減額という子育て支援の施策も大変評価しており、今後も維持していただきたいと思っています。

町長

保育料につきまして、大変ご心配いただきまして本当に

ありがとうございます。減る方が多いということで、保育

真つ盛りの保護者の方々にについて言えば、非常にいい傾向でないかなと思っています。今後もそういった支援も踏まえて、取り組んでいければと思っています。

議員

行財政改革

現在、紀宝町役場関係で使われているOA機器（コピー機等）が毎年、単年度契約になっているが実質的には複数年使用している状態。一般競争入札で長期継続契約を結ぶと、リース料の経費節約と

契約事務でも大幅な負担削減になります。二〇〇四年に地方自治法第二百三十四条の三、地方公共団体における長期継続契約にかかる規定が改正され、条例の制定により長期継続契約が可能になりましたが、そこで長期継続契約についての当局の考えをお訊ねいたします。

担当理事

OA機器のリースは九十台です。地方自治法が改正されたということで、各担当部署において契約する上で、それを利用して契約するのが有利ではと思っています。

議員

この契約状態は競争入札なのか。随意契約なのか。

担当理事

これは各担当部署によって違うと思うのですが、見積入札のところもあれば、随契も今までの流れであります。

議員

契約は各課バラバラということですか。

町長

決して随契だけで全てやっているということではございません。議員ご指摘のように、見積もりに付すべきこと

が適当なものは見積もりに付し、そして入札に付さなければならぬものについては入札に付して、経費の節減に努めていきたいと思っています。

議員

長期継続契約の対象になるOA機器はコピー機の他にもあるのか。

担当理事

その他のOA機器で、業務用のパソコン、ファックス、プリンター、輪転機、サーバーが、リースとなっておりま

議員

町長、この機会にリース契約の見直しをして、財政の改善策として条例制定を検討していただき、削減された財政で住民の本当に身近な問題にお金を使っていたいただきたいが。

担当理事

検討させていただきます。

議員

是非、条例を制定して、町財政の健全な運営をお願いしたいと思っています。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



矢熊 敏男 議員

- ・災害に強い町づくりについて
- ・救急医療態勢について
- ・災害対策について
- ・町立図書館について

——災害に強い町づくり

議員

災害に強い町づくり、救急医療態勢、災害対策、町立図書館の四項目について質問をさせていただきます。まず、災害に強い町づくりを推進する視点から、八項目について質問します。一番目は七月の台風四号による町内の被害状況と、相野谷川や輪中堤について説明をお願いします。

担当課長

農業基盤関係、農産物関

係、林業施設などに被害がありました。輪中堤各施設は、水位状況を確認しながら対応をいたしました。効果があつたと思われま

議員

一人暮らしの高齢者や体の不自由な方々に対して、災害時の避難や救助の際の取り組みは。また現在、組織中の自主防災組織や、個人情報保護法との関係は。

担当理事

本年度中に、要援護者リストの作成を、行政、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、自治会、自主防災組織と連携し、個人情報保護法にのっとり、本人の合意を得て取り組みま

議員

災害時における避難施設とその収容人数は。

担当理事

町全体では四十四施設、収容人員は、七千八十五人。町民の五十六%の方が避難できます。

議員

避難施設での食糧、飲料水、寝具、生活用品、備蓄食糧などの取り組みはどうか。また大型店舗やJA三重南紀

などと、災害時のための協定を結んだらどうか。

担当理事

四十三の避難所に、非常食など四千食分を用意。また毛布及び救急用品なども配付。業界などとの協定も進めていきたいと思

議員

災害時に必要な応急住宅、その用地などはどうか。

担当理事

井内工業団地、小僧ノ上町有地、そして深田運動場、また鶴殿運動場を予定してあります。

議員

津波等に対する、避難場所や避難路の確保、及び町民への周知徹底はどうか。

担当理事

津波避難所、避難路、避難誘導標識など、自治会、自主防災組織などと相談し整備を図ってまいります。現在、町の防災マップを作成中で、十二月に全戸配付を行う予定です。

議員

町内の耐震診断と耐震補強工事の進捗状況及び啓発や推進の取り組み状況は。また「一部屋補強工事」は補助対

象になるのか。

担当理事

現在まで、耐震診断事業は百九十九戸が受診され、耐震補強事業は九戸で実施されています。今後は、積極的にPR等に努めたいと考えています。「一部屋補強」については、県の土木整備部と協議を進めたいと思っています。

——救急医療態勢

議員

全国的問題の救急医療についてです。町内の妊婦の方々に対する救急医療態勢は大丈夫か。

担当課長

この地域には、産婦人科関係の医療機関が、紀南病院をはじめ新宮市立医療センターなど五軒あり、かかりつけの医療機関において二十四時間対応をいただけていると思います。緊急時には、産科医が常駐している紀南病院や新宮市立医療センターで受け入れていただけていると考えております。

議員

我々の病気や怪我に対して、二十四時間医療態勢は大

丈夫か。紀南病院と新宮市立医療センターとの補充に関する協定がなされているのか。

担当課長

この地域の救急指定病院は、紀南病院、新宮市立医療センター、尾鷲総合病院です。救急時の医療連携が確立されております。

—— 獣 害 対 策

議員

町内外で獣害被害が大変深刻です。熊野市、御浜町との連携も必要です。町の獣害対策システムは。

担当課長

有害鳥獣捕獲制度により、猟友会に対し、銃器・わなによる、イノシシやサル等の駆除を依頼しております。電気柵の設置も実施、有効と考えております。

議員

町内の、過去3年間の農業被害や人的被害状況は。

担当課長

かなりの被害が発生しています。人的な被害は聞いておりません。

議員

産業建設課には鳥獣害係が

ありますが、一歩進めて鳥獣害対策室を、また各地区には鳥獣害対策団（仮称）の設置を提案します。

町長

鳥獣害対策室、対策団については、大変いいご提案をいただきました。

—— 町 立 図 書 館

議員

町立図書館は、環境も館内も美しく、職員の方々も親切で、さらに発展充実して欲しい。現在の概要、蔵書数、貸出数、利用状況などは。

担当課長

開館後十五年を経過し、蔵書数は約四万二千三百冊、延べ貸出数は六十五万六千冊で、多くの方々に利用されています。

議員

提案ですが、町関係者の書物、郷土、熊野古道関係などの資料を集めた郷土資料室（仮称）を閲覧室の隅などに設置できないか。

教育長

郷土資料関係のコーナーを準備しております。

議員

図書館の充実については、町長さんにも是非お願いいたします。



地 案 光 徳 議員

・子育て支援について
・地球温暖化防止について

—— 子 育 て 支 援

議員

当町は数多くの方々の先賢もありまして、学童保育や井田公民館、分庁舎の子ども遊び場の開放、そして乳幼児医療費就学前までの無料化など、三重県下においても子育て支援は進んでいると思います。でも県下全体としては、まだまだ改善することもあるのではと、公明党三重県本部では五月二十一日～六月八日

までの間、県内全市町に子育て支援アンケート調査を依頼、二十九全市町から回答をいただきました。調査目的は、わが国では晩婚に加え結婚した夫婦の出生数が減少するなど、急速に少子社会が進行している。こうした少子化は社会経済全体に大きなインパクトを与えることから、国はその対策の一環として、平成十五年、社会全体で子育ての支援に取り組むことになっており、既に各市町村においても、計画やプランが策定され、総合的な子育て支援事業の推進が図られているところです。アンケート調査の項目は、①次世代育成支援行動計画を推進する地域協議会の設立について②支援行動計画で推進する事業の中で最重要施設について③地方交付税に参入された妊婦健康診査の公費負担回数拡大について④乳幼児医療費の無料化について。県単事業の就学前までの入院費の無料化について⑤児童虐待について⑥番目には①から⑤の問題に関連して、国

結果の分析を踏まえ、支援の強化について知事にも要望をしてまいりました。私も、この調査の結果をもとに児童虐待と妊産婦健診についてをお訊ねいたします。これらの調査に関して当局はどのように対応されますか。

担当課長

児童虐待については、これまでは児童相談所による対応が中心でしたが、平成十六年十月から施行された改正児童虐待防止法により、市町においても対応を的確に行うことが義務付けられました。当町におきましても教職員、保育士、保健師やその他児童福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあるということを感じ、子どものSOSを見落とさないよう、常に関係機関と連絡を取りながら予防及び早期発見、虐待を受けた児童の保護及び自立支援等、児童の擁護体制の確立に取り組んでまいります。

議員

紀宝町総合計画の中には、虐待防止ネットワークの設置を働きかけるとあるが、要保護児童対策は具体的には決ま



港灣対策特別委員会

っていないのか。

担当課長

正式なネットワークの設置にはまだ至っておりませんが、各関係機関と連絡体制を取って、今後このネットワーク化の目に見える組織化を検討していきます。

議員

紀宝町には里親制度はないのですか。

担当課長

現在、町内の方では把握しておりません。

議員

次に妊婦健康診査公費負担

について、実は第一回三月定例会でも出産世帯の負担軽減をお訊ねした。そのときの当局のお答えは、近隣市町とも歩調を合わせ前向きに検討するとのことでした。その後、三重県では妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方というところで、医師会、助産師会等で調整を重ねて、三重県で統一の無料健診を二回から五回に二十年度より実施されるとありました。当町もこれで実施されるのですか。

担当課長

紀宝町としても県内で五回で統一していくという流れの中で予算化をしていきたいと思っています。

議員

三重県の統一に重ねて、紀宝町独自として、あと、一回でも一、二年かけてでも増やしていくという思いはありませんか。

町長

妊婦の健康管理を含めて、十分調査しながら、また今後の流れなり状況を見ながら、できるだけそういつたことに配慮のできる町として取り組んでいきたいと思っています。

地球温暖化防止

議員

地球温暖化防止の各自の実践目標について、まず各家庭からの二酸化炭素削減が焦点の一つとなっている。現在、国は一人一日1kgの二酸化炭素削減を目標とした国民運動を展開している。身近な実践目標として、シャワーの使用時間を一日一分間短縮すると七十四gの削減、古いエアコンを省エネタイプに買い換えると百四gなどで、一日〇・七九五kgの削減になる。また車のアクセルをあまり踏まないとかで、自分たちの生活の中で二酸化炭素の削減ができるということを地域住民にアピールをしていただきたい。

担当課長

三重県におきましても、エコポイント二〇〇七という取り組みを行い、協賛企業から特典を受けています。紀宝町役場において「循環型社会の推進とごみ減量化に向けて」と題して職員向けの研修会を行っております。今後も引き続きこのような研修を行い、一人ひとりが地球温暖化防止

に取り組んでいくよう、地域住民にも広報や回覧等を通して啓発を呼びかけてまいりたいと考えております。

議員

年間三千八百万tは一人一日1kgの削減で達成することができるとあります。これを各家庭が実践するにあたって、各人・各家庭が実践目標を示すことが大事だと思います。私の家は二酸化炭素の削減家庭といったステッカーを発行するとか、また自分の削減目標を示す表のようなものを作成するといったようなことはできませんか。

担当課長

三重チェックポイント二〇〇七という用紙を役場の窓口なり支所に置いて、取り組みをしていただくなど、紀宝町全体の住民の皆さんが取り組みやすいように検討し、町民の皆様周知して、協力をお願いをしていくようさせていただきます。と考えております。

議員

二酸化炭素を削減して地球温暖化を防止することは、私たちの使命と思って実践に努めたいと思います。



門脇庸二議員

・平成十八年度一般会計決算の概要について
・平成十九年五月末時点の未収金残高について

他

一般会計決算概要

議員

まず、この平成十八年度一般会計決算に対する総括、見解をお聞きます

収入役

平成十八年度借入額が七億六千二百万円ありまして、借入件数が、合併による特例事業が七件。臨時財政対策債が二件。その他で、辺地債一件と一般公共事業債三件を含めて十件で、合計十九件でございます。交付税措置がございますので、実質の借入額は、一億八千万円となります。

す。

議員

財政調整基金についてどのような計画を持っておられるのか。

担当理事

平成十九年度最終的には、約三億百万円程度の予定です。

議員

やはり、将来の健全財政を考えていくのであれば、財政調整基金を積み立てていつて、急を要する場合に、備えていかなければいけないのではないかという気がいたします。

町長

議員ご指摘のように、財政調整基金を造成していくのは、大事な問題だろうと思います。最低でも一般会計できるといふ体制をとっていきたいと思っております。

議員

合併特例債というのは、一つの十年の区切りですので、十年間に、金属疲労を起こしている財政状況を、やはり弾力性のあるものにするというのが努力目標であるし、また、それをやらなければ、何のために合併したのか。十年後に

は赤字財政ということにならないとも限らないと思います。十年後において、積立金をどの程度の目標に置くのだということを、数値の上で押さえないと、ただ単年度のことを話しておつても、財政の健全運営というのが、見えてこないのじゃないかという気がするわけです。その数値をもつて、健全財政をどうあるべきかというものを十分議論していただいて、やはり究極の目標は十年後、我々のまちの子供や孫に、そういう財政、できるだけ借金を残さないようにもつていくのが町長に課せられた大きな使命でもあると思います。それに向けてのお考えの程をお聞きます。

町長

議員おっしゃるとおりだろうと私も認識いたしておるところでございます。これから十年間、この新紀宝町がしっかりとした健全な財政運営ができる、そういったまちづくりをしていく必要があると、強く思っております。現在のおかれている財政状況の中で、できることをしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますし、そういった状

況を踏まえ、これから安心して財政計画ができる、そういった基礎づくりを取り組んでいきたいと思っております。

未収金残高

議員

未収金の総額で一億五千万円程あるわけですが、どのように徴収率を上げようとしているのか。これは各課あるうと思ひますけれども、お訊ねいたします。

担当理事

税務住民課の場合について、時効というものがありますので、時効中断の措置をとらなければならぬということ、納付誓約書の締結を積極的に行っております。国民健康保険税については、滞納額の収納に応じて、短期証や保険証を発行しております。それと、町税の高額滞納者については、三重地方税管理回収機構に移管するなど、徴収対策を講じております。また、口座振替制度の推進もしております。

担当課長

福祉課の保育料の未納について、各家庭のご事情もございすが、根気強く、納付の

相談を受けさせていただいて、少しでも納めていただけるように、働きかけていこうと思っております。これ以上未納が続くようであれば、他の徴収方法、直接お伺いする。保育所を通して納付を依頼するような、別の手段も考え、できるだけ未納を減らし、努力していこうという話し合いをしております。それから、災害貸付については、年次計画で、毎年返していただく運びになっておりますが、いただけない部分は、再度お伺いをし、できるだけ早く回収を行ってまいりたいと思ひます。

担当理事

水道課について、水道料金の徴収方法につきましては、毎月一か月以上の未納者に対し、水道料金未納催告書を送付させてもらっております。さらに三か月以上の未納者に対しては、給水停止のお知らせを送付し、また、納付がない場合は、給水停止実施日のお知らせを送付し、給水停止を行っております。今後も未収金の回収に努めてまいりたいと思っております。

担当理事

総務課関係、住宅の使用料ということ、少し未納の部分がでてきて、督促を行っておりますが、まだ、若干未納が残っております。

議員

徴収方法をどのように考えておられるのか、担当課に聞いたのですが、最終的な責任は、やはり町長であろうと思ひます。どのように指導されていくのか。

町長

税の公平性を保つ上で、その世帯の状況がありますが、それらを見過すこと自体問題でありますので、やはり途切れることなく、お伺いしながら、理解をして納めていただく。そういった努力をしていく必要があるのではないかなというふうに思っております。

議員

全体の行政中で、この未収を未然に防ぐ仕組みづくりというものを、是非検討だけではなく、現実のものとし、取り組んでいただきたいなど、このように要望します

年金横領、着服問題

議員

年金横領、着服問題について、社会保険庁より、全国の自治体で再調査を徹底せよという要請があったと思いますが、それに対して、どのような調査、返事をされたのですか。

担当理事

平成十四年三月末まで、市町村の機関委任事務ということで、町で事務を実施していたという経緯があり、その職員が、保険料を着服した事案がないか調査がありました。当然ながら、紀宝町においてはそういう事例はなしということでした。



矢熊 達雄 議員

・行財政改革について

行財政改革

議員

行財政改革については、三月議会に一般質問をし、その答弁で、強い思いを持って早い時期に改革委員会を設置する、と述べていますが、その後の経過と進捗状況をお伺いします。

町長

当町は合併をしたが財政的に厳しい状況にある中で、これから健全な財政運営をしていかねばならないと思っています。十八年度予算では九十九・四の経常収支が十九年度予算九十六・四になっています。十年後には九十四までしていきたいと考えていますが、行政だけで成し遂げるには非常に難しい問題もあり、町民の皆様との連携も必要になってくようかと思っていますので、民間の委員の方の意見等拝聴する中進めていかなければとの思いから、今、委員会より資料の提供等を求められ、資料等の作成をしています。進捗状況については理事より答弁いたします。

担当理事

行財政改革委員会を六月四日に一回目を開催しました。

資料作成をしまして、二回目についてはまだ開催をしていません。十八年度の決算状況も提出できる状況等になってきましたし、総合計画の基本計画も作成されましたので、今月から月一回のペースで進め、十二月中に大綱が答申できるよう計画をしています。

議員

国においても改革に伴う痛みとか言われていますが、総合計画の中身と、この行財政改革とは相反する問題があるのではないかと。

町長

行政的な中で経費削減については一生懸命取り組んではまいりたい。財政的な問題については痛みを伴う部分も出てくようかと思うが、委員の皆様の見解を賜り、相乗的に効果を上げていきたい。

議員

町民の皆様に見える形で進めていかなければと思うが。

町長

町民の皆様と共通認識を持つ意味でも、広報活動が重要だと考えています。

議員

六月四日に一回目を開催し二回目についてはまだ開催をされていない中で、十二月中に大綱を出したいとの答弁だが、月一回のペースにこだわることではなく、回数については多くやっていただき十分な議論を、また、十二月議会に大綱を出せるべく努力をしていただきたい。

担当理事

努力目標にしたい。



尾畑 啓嗣 議員

- ・町有地の払い下げについて
- ・臨時、パートの時間給の引き上げについて
- ・住民サービスの向上について

他

担当課長

法定公共物の払い下げにつきましては、道路法や河川法の適用や準用を受ける性格上、払い下げできません。法定外公共物については、払い下げの申し出があれば、隣接所有者など周辺や区長等の同意を得て地番を起こし払い下げをします。

担当理事

鮎田配水池跡は払い下げを考慮に入れ、資産の有効利用を検討してまいります。

時間給の引き上げ

議員

専門職である保育士の時給を千円に、年間七名の保育士に二百二十五万円予算化すれば、県下平均になる。

町長

最低賃金を考慮いたしますと、十分上回っているのではないかと。今後、近隣の市町村とも調整しながら検討していきたい。

住民サービス向上

議員

私は三重労連の幹部と懇談

町有地の払い下げについて。

会があり、十一月三十日に紀

宝町役場を訪問したとき、各職員がこんにはと次々と挨拶があり、まるで銀行に入ったときと同じで、大変印象が良かったと褒めていただきました。海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまちをつくるため、職員が全体の奉仕者となるため引き続き職員研修を望みます。

担当理事

昨年度に実施いたしました接遇向上研修には職員全員を二回に分け、住民サービスの心がけや応対マナーを身に付けるため、実践的な研修を受講させております。今年度は、管理職を対象に自己を啓発し、意識改革を図り、部下を育てながら、効果的な行政サービスを目指します。

議員

解休業者が行った成川地区での解体について、住民の不安が払拭されなかった。法に触れない、指導に従わない、で終わる問題ではない。住民の安心と安全が守れる職員づくりが必要だ。そんな職員研修を行うことと、住民に迷惑をかける業者にはペナルティーをかけ、協調しあえる紀宝

町を作るべきだ。

町長

一生懸命取り組んでいきたい。

事務事業の抜本的見直しを

議員

福祉医療助成制度（心身障

がい者医療費、一人親家庭等医療費、乳幼児医療費、老人医療費、寡婦医療費）、児童扶養手当、特別児童扶養手当、国民健康保険証、国民年金、出産一時金等、更新できるものは、自動的に、所得制限のある者は確定申告で七月に税額は決まる。死亡届、出産届が提出されれば、そのことに係わるものは自動的に事務が行われる。一年経てば生まれる権利、消滅するものは自動的に処理する。要介護認定者への障がい者控除も申請なしで発行する。あまりにも、更新だ、申請だが多すぎる。福祉医療助成制度の窓口負担は改めるべきだ。

担当課長

この制度につきましては、申請をしていただくことになっております。少し研究させ

ていただきたい。即答は避けさせていただきます。

地域ケア体制整備構想

議員

病院の療養病棟（入院のベッド数）は減らす、介護の必要な療養型を減らす。家で病人を看なさいよ、という制度、これを二十年度に県へ作りなさい、と国から押し付けられている。県から次は町に来ます。町は高齢化が進む中で、いかにして病人を出さない対策を計画しなければなら

ない。来年までにどういう計画を持っていますか。

担当課長

三重地域ケア体制整備構想策定検討委員会を立ち上げ二回開いております。本年中に計画が決まり、来年以降については、未確定と報告を受けております。県からの指示があれば、この町の福祉計画との整合性を保ちながら、計画を立ててまいりたいと思っています。

議員

各課の配置図をいただきました。各市町を見ますと、福祉課、健康づくり推進課、包括支援センターと税務住民課が隣にあるのが一般的です。産業建設課二階へ、町長、一考願えませんか。各課とも相談してください。

町長

ワンステップサービスができるというのが一番基本で、私もそのとおりだと思います。

相野口入りの予算化を

議員

相野口（鮎田）永田線の道路改修が進められています。来年度予算に、一番交通事故の多い、相野口信号からカーブ二つ目の相野谷川までの用地買収の予算化をし、拡幅をお願いしたい。

獣害駆除の拡大を

議員

二十四haの電柵を設置、効果があつたと思います。来年は拡大を。また、獣害駆除に

については、サル、イノシシ、シカは、南郡熊野市一帯で、一頭当たりの奨励金も統一してはどうか。追われれば彼らには国境はありません。

町長

熊野南郡で連携もし調整しながら、今後、考えてまいりたいと思います。



北山 千恵 議員

- ・初盆精霊送りについて
- ・合併浄化槽のPFI事業について
- ・行政の説明責任について

初盆精霊送り

議員

鵜殿での初盆精霊送りで、灯籠を焼く際に真っ黒い煙が会場に充満し、危険な感じさえ受け、「悪質な野焼き状態」と言われています。行政とし

てどのような指導をされたのですか。

担当課長

毎年広報等でプラスチックや金物をはずすよう、また、御供え物も持ち帰るようお願いをし、初盆供養の主催者にはチラシを渡して指導しています。

議員

そのようにされていても実際には真っ黒い煙が発生したのですから、会場に持ち込む物は紙と木でできている灯籠か提灯一個と限定し、素材もチェックすることを徹底させ、環境に負荷をかけないような初盆精霊送りにしていただくことを要望します。

浄化槽整備 PFI導入

議員

確認のため、何のためにPFIを導入し、そのことによつて実際にどれだけ水環境が良くなるのですか。

担当課長

汲み取り式や単独浄化槽を合併槽に切り替えてもらうためにPFIを導入し、維持管理をきっちり行い、水環境の負荷を減らすためです。汲み取り式では合併浄化槽に比べ七倍、単独槽では八倍環境に負荷をかけているという統計があり、切り替えることで環境への負荷が七分の一、八分の一になるといことです。

議員

統計ではそうかも知れませんが、一概にそれが本町に当てはまるかという疑問です。本町で汲み取り式のトイレを使用されている方は高齢の方が多く、食事のままならないような状況で、若い人のように洗剤を多く使用することもなく、雑排水でとても七倍も負荷をかけているとは思えません。本町のトイレの現状は

どうなっていますか。

担当課長

合併浄化槽が千六十基で、単独槽が二千八百基、汲み取り式が千六百基であります。

議員

計画では年百五十基合併浄化槽を設置することになっていますが、土地の関係で合併浄化槽にできない家はどれくらいありますか。

担当課長

鵜殿や成川等で約百三十世帯くらいです。

議員

例えば、鵜殿で道も側溝もないようなところが何軒もあります。また、転換を希望すれば排水は町が責任を持つということですね。

担当課長

合併浄化槽の切り替えに伴う側溝の補修等は行政で行います。また、パイプでつなぐ等も考えています。

議員

PFIを導入して十年かけて千五百基合併浄化槽を増やし、合計で二千五百基設置しても、町内の過半数以上が現状のままです。他に水環境を良くするためにどのような対策をとられるのですか。

担当課長

十年後もPFIで新たに整備していくのか、市町村設置型にするのか、あるいは他の事業や施策を検討するのか慎重に検討していく課題です。

議員

水環境を良くするためにソフト面での事業や啓発、例えばEM菌の培養液を川に流すことで宮川などはBODが日本一位になっていますし、浄化槽の清掃を年一回は必ずするよう、怠った場合は罰則規定を設ける等しなかなかな水環境は良くならないと思います。

担当課長

ソフト事業を併用して水環境を良くすることはとても重要なことです。行政も民間や団体と協働してやって行く必要があります。罰則規定は法律が変わり罰則が設けられましたが、三重県下でまだ適用された事例はありません。今後、さらに年一回は浄化槽清掃をするよう啓発が必要であり、現在二十%の合併浄化槽の設置数を五十〜六十%に伸ばすことで環境負荷を抑えたいと思います。

議員

三重県下でも北の方の合併浄化槽の普及率は七十%以上と聞いているが、BODの数値は高く、川は汚いと聞いている。だから合併浄化槽を設置するだけで本当に良いかというところでも疑問です。県下でこの事業にPFIを導入したところはどこもなく、当局が説明するようにPFIがそんなに良いものなら、なぜ他市町が取り組まないのか、どう分析していますか。

担当課長

下水道や、農漁業集落排水を整備されている所もあり、県下二十九市町の内、浄化槽による排水処理をしているのは二十七市町で、五市町が市町村設置型で取り組んでいます。PFIの方が費用対効果はるかに良いのになぜ導入しないのかは、市町村設置型がなかなか浸透しないという状況からです。

議員

現在五人槽の単独浄化槽ですと、年間の維持管理は二〜三万円で済みます。切り替えに三十数万円をかけ、維持経費が倍以上になるとあつてはなかなか切り替えが難しいと思うが、計画の百五十基の設



教育民生常任委員会



井田海岸浸食対策特別委員会

置が困難な場合、どこが金銭的なしわ寄せを被るのですか。

担当課長

一年間で設置した分を町が買い取る形なので、契約行為により整備基数で報償金と罰則という形で規定をします。整備基数のノルマに満たなかった場合は、目的会社とその分の金銭的な負債が出ます。

議員

民間委託した方が行政としては安くつくということを理解したが、水環境を本気で良くするのが目的なら、企業の排水等もチェックし、ソフト面で水を綺麗にするために色々と努力し、目的会社で合併浄化槽の管理だけではなく、単独槽も管理すれば水環境はもつと良くなると思います。

町長

紀宝区の方が早くから水環境というに取り組まれており、合併浄化槽の設置数も多いです。遅れている鶴殿区についても理解していただき、単独浄化槽の撤去費についても最大九万円を助成して普及を図っていきたい。議員の言うソフト部分も含め、総合的に水環境を良くして行くことが大事と思っています。

行政の説明責任

議員

法律で随意契約は法令の規定に認められた場合のみ行うことができると思います。また、見積書も二以上のものから徴することありますが、今回の場合二以上から見積書

を取っていますか。

担当理事

見積書は取っていません。

議員

それはおかしいですね。地方自治法第二百三十四条第二項で随意契約ができる場合を謳っていますが、今回の場合どの部分に当てはまるのか。また、随意契約の金額が規定されています。本町の場合、いくら以内となっていますか。

担当理事

施行令第六十七條の二第二項の第六号に競争入札が不利と認められるとき、第七号で時価に比べ著しく有利な条件でできる見込みのあるときとあり、金額は設計の場合五十万円以内、工事の場合百三十万円以内となっています。

議員

二以上の見積書も取らないで、競争入札が不利という項目で随意契約したのですか。それと、設計料はいくら。

担当理事

見積書を取らなくても良い条件に特別な事情があるときという項目があり、今回の場合は庁舎の状態を良く知っているということがこれに当て

はまると思います。設計、監理併せて五百六十二万二千元です。

議員

法律で規定されている随意契約ができる五十万円以内を遥かに超えています。過去に老人福祉センターに介護支援を増設したときは、別々の業者が担当しましたが特に問題はありません。贈収賄の温床ともなり得るような随意契約でことを進めて行くのではなく、今後、町が発注する事業は情報公開し、町内の業者さんが入札に参加できるように仕組みにすることを要望します。



市川 潔 議員

- ・シルバー人材センターについて
- ・スポーツ振興と健全育成について
- ・緊急地震速報他防災について

シルバー人材センター

議員

シルバー人材センターの現在の状況について、会員数及び利用者数をお訊ねいたします。

担当理事

紀宝町におきましては、紀宝町シルバー人材センター要綱に基づき、シルバー人材センター事業の管理運営を、社会福祉法人紀宝町社会福祉協議会に委託しております。シルバー人材センターの現在の会員数は、男性五十名、女性三十五名の合計八十五名の方が会員として登録されております。平成十八年度は、千十四件の受注があり、年々依頼は増加しております。

議員

シルバー人材センターで働いている中で怪我とか、労働災害という事例はどのくらいあるのでしょうか。

担当課長

昨年十八年度については、傷害事故発生はございません。傷害保険につきまして

は、社会福祉協議会の方が独自で保険に加入しているということを承っております。

議員

合併してから、鵜殿の方からも利用者、会員数等も加わっていると思いますが、そのあたりの状況はどうですか。

担当課長

平成十七年は八百八十五件の作業件数で、プラス百二十件の千十四件、合併までは十六名の登録で、プラス十九名で八十五名の会員数で大幅に増えている状況です。

議員

委託料の方はいくらになっていますか。

担当課長

このシルバー人材センター事業の委託契約料は、年間百六十九万円です。

議員

シルバー人材センターが法人化になりますと、国の助成が受けられると聞いておりますが、その辺りはどうなんですか。

担当課長

今現在、法人化が可能な組織の形態になっております。但し、国庫補助金を受けられるような対象になる法人格、

法人化には条件があります。

会員数百二十名以上及び年間の作業人員が五千人以上という二つの条件の内、会員数がまだ若干足りないののでほとんど会員数を増やしていきたいと、社会福祉協議会からの報告でした。もし国庫補助金を受けられるような法人格になれば、町の補助金を限度に国から補助が受けられます。そういう状態で、今、会員数を増やす努力はしているという報告は受けております。

議員

法人化にすることによって、百六十九万円、町が直接出しているものが、国から補助がいただけるということですね。町の財政が厳しい中で、財源が入ってくるかんべんが必要かと思いますが、法人化するには三十五名ほど会員が足りないという状況ですが、町としてはどうお考えですか。

町長

できるだけ有利なかたちの中で取り組みをしていただくように、機会があれば私からも申し添えていきたいと思っております。

スポーツ振興 と健全育成

議員

小学校では、ゆとり教育の総合学習の時間を減じて、基礎科目の増となる話し合いが、中央教育審議会であったと報道されていました。小学校のときにスポーツの楽しさを経験することが心豊かな精神力を養うために非常に大切になってくると思われすが、紀宝町でのスポーツ少年団及びスポーツクラブ会員の状況はどうなのかお訊ねします。

担当課長

十九年度スポーツ少年団の登録数は十八団体で、団員数は三百七十八名。内、指導者が九十八名の登録があります。スポーツクラブにつきましては、本年度紀宝町クラブ四百二十七名。内、小学生の団員が九十八名。鵜殿スポーツクラブは七十名。内、十一名の小学生の団員があります。

議員

スポーツ少年団の大切さを教育長にお訊ねしたいと思

ます。

教育長

今後とも、スポーツ少年団の子どもの健全育成に関わって、いろんなところで学校教育と連携をしながら、推進していくのではないかと考えております。

議員

今後とも、スポーツ少年団とスポーツクラブへご理解とスポーツ振興、健全育成が素晴らしい発展するようにご支援をお願いします。

緊急地震速報他防災

議員

近い将来に発生が予想される東南海・南海地震時に住民が少しでも被害にあわない対策として、耐震化と家具の転倒防止、正確な情報通信の構築等が考えられることから、まず、家具の転倒防止の六十歳以上の補助等、紀宝町ではどのような進み具合かお訊ねします。

担当理事

六十五歳以上の高齢者の世帯に家具転倒防止補助が適応され、全体で百四十三件の実績となっています。

議員

今後とも啓発の報道をよろしく願います。住宅の耐震化の状況についてはいかがですか。

担当理事

耐震診断事業は百九十九戸が受診、耐震補強事業は九戸の補強工事が実施され、今後はさらにPRと啓発に努めたいと考えております。

議員

一部屋補強でも補助が出るような働きかけはどのようなか。

担当理事

家屋全体が評点一以上にならない部分補強は補助の対象外ですが、今後、県と協議したいと考えております。

議員

耐震診断の数が減っているような状態だと思うがどうか。

担当理事

再度周知を図って、啓発を進めたいと考えております。

議員

鵜殿港の防潮扉の完全自動化についてお訊ねします。

担当課長

非常電源設備、遠隔操作のための制御盤等を格納する局

舎である遠隔操作被制御所は、液状化対策等に万全を期し、耐久性の向上を図ることです。地震感知方式を採用した自動制御につきましては、自動制御の引き金は何が最善であるか協議を進めている段階であります。

議員

緊急地震速報の紀宝町においての使われ方についてお訊ねします。

担当理事

緊急地震速報につきましては、同報無線により住民の皆様には昼夜を問わずお知らせできる全国瞬時警報システムの導入を計画したいと思います。

議員

紀宝町の住民が、もし、こういう地震が来たときに少しでも身を守るために、紀宝町としては、こうなんだということでお答えをお願いします。

町長

やはり町民皆様方にまず知っていただくというのが、議員ご指摘のとおりだと思います。地震とか災害に対する気持ちをしつかりと常日頃から持っていたことが、大き

な減災の効果に現れてくると思います。

議員

緊急地震速報受診時の行動は、周囲の状況に応じて、慌てずまず身の安全を確保することが基本となります。



西村 喜久男 議員

- ・学校教育の充実について
- ・スポーツ少年団の育成・支援について
- ・林道の維持管理について

学校教育の充実

議員

不登校児童に対してのケア・サポート体制をどのように取り組んでおられますか。

教育長

学校では、いじめのない楽しい活気ある学校づくりを目指し、先生と児童・生徒の信

頼関係に基づいた学習の構築に努めております。さらに地域の方々にいろんなところで学校教育をサポートしていただいております。不登校の児童・生徒個々に対しては、家庭訪問を繰り返しています。本年度はその家庭訪問の質の向上に努めております。矢渕中学校では、スクールカウンセラーが配置され悩みの相談に乗ってもらっています。さらに熊野教育支援センターの先生方に不登校生徒や、学校に対して支援していただいております。

議員

これからの人生でも大切な小学校と中学校の時期です。何とか皆が、今後の人生に生きがいを持っていけるような楽しい学校生活ができるようご努力をお願いします。次に防災教育について伺いたいと思います。現在の防災教育の実情と今後の取り組みの考えをお訊きしたいと思います。

教育長

防災教育の一環として、火事や地震を想定した避難訓練をそれぞれの学校で創意工夫して行っております。これ

は、まず子どもたちに自分の命は自分で守るという教育につながっていると思います。消防署等外部の者を呼んで、防災訓練を行っている学校もあります。今後も続けて訓練を行っていく必要があると思います。防災教育は学校だけではなく、地震が起こったらどうするか等、家庭の中で日頃から話し合っておく必要があるうかと思えます。

議員

神戸市では市立の全ての小学校、中学校で阪神大震災の映像を収録したDVDと、新聞記事や写真を収めたCDを教材にして学校教育に取り入れているそうです。是非紀宝町でも、実際の体験された資料を取り入れて、防災教育に取り組んでいったらどうでしょうか。

教育長

議員の今のご意見を今後とも参考にしていきたいと思っております。

スポーツ少年団の育成・支援

議員

挨拶から始まって、他人を

思いやる心など、その後の子どもたちの成長に果たす役割が大きいと思うスポーツ少年団です。県大会や全国大会へ出場したときの支援状況はどうなっていますか。今後の支援向上についてはどうでしょうか。

担当課長

選手と監督一名、コーチ一名に対して、一大会当たり一名に上限二万円の助成金を補助しております。平成十八年度の実績は、東海大会、全国大会に八団体が十七の大会に出場しております。その八団体につきまして九十九万七千六百六十九円の補助をしています。支援向上の考えは、現状のままでご理解お願いしたいと思っております。

議員

大変財政が厳しいことは分かっておりますが、全国大会や他県で、紀宝町のイメージアップに繋がると考えますので、是非支援向上を考えていただきたいと思います。続いて、まなびの郷をスポーツ少年団の方にも開放して宿泊できるような運用のお考えはどうでしょうか。

担当課長



災害・環境保全対策特別委員会

これまでのまなびの郷での宿泊については、通学合宿や地震のときに避難者の宿泊に利用されておりますが、まなびの郷の警備上の管理機器が事務所に集中し、事務所を職員以外の方が使用することは管理上問題があり、いずれも職員と一緒に宿泊し管理を行っております。まなびの郷にはシャワー等宿泊施設用に施設を整備していませんので、新宮の銭湯や一般の方々の家でお風呂をいただいた状況で

す。宿泊の運用は今のところ考えておりません。

教育長

スポーツ少年団の本来の活動の中に、合宿は少々無理があるのではないかと感じております。まなびの郷は生涯学習の拠点として充実発展させていかなければならないと思いますが、宿泊に関しましては、今のところはちよつと無理かと思ひます。

—— 林道の維持管理

議員

林道が土砂崩れで側溝が埋まり、道路の崩壊の二次災害になりかねない状況だと思ひます。まず、浅里く桐原間の維持管理はどのようになっているのでしょうか。

担当課長

災害を引き起こす恐れのある側溝等は、優先的に対策を考え、現地の状況、地元からのご要望を聞き、計画的に管理していく必要があります。林道の草刈は地元の協力もいただき整備していきたいと考え、毎年百五十万円ぐらい計上させていただいております。

議員

浅里く松杖間の未舗装箇所の土砂が流れ出して、大変な状況になってますが、今後の整備予定はどのようになっているのでしょうか。

担当課長

台風四号の土砂崩れで通行不能になった箇所については一部土砂を撤去、排除して管理車両が通行できるようにしました。また崩壊の恐れのある危険箇所の土砂の撤去等は、九月の補正予算で計上し施工したいと考えております。洗掘されやすい箇所、未舗装箇所が九・六kmあり、二十一年度までに三・六kmを施工したいと考えております。十九年度は一・三kmの舗装を計画しております。維持費の予算も百万く百五十万円程度ですので、洗掘されやすい場所を優先的にやっていくことでご理解をお願いいたします。

議員

松杖側ではさくらの会の山もあります。二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に役立つ環境林としての役目、水源林としての役目もあります。町長どのようにお考えですか。

町長

これらの林道は桐原地区か

ら浅里く松杖に抜けてくる唯一の道路でもございます。孤立をする状況も考えられますので、迂回路等を踏まえて通行できるようにしておく必要があると思ひます。松杖く浅里線については、建設途中の部分も入っていることで、県の補助を受けながら順次進めていきたいと思ひつています。

議員

できるだけ早く、未舗装箇所の整備完成をして、側溝等の土砂を省いていただくような維持管理を徹底していただき、防災の面からも林道としての役割を果たせるようよろしくお願い申し上げます。



登立元吉議員

・外来魚を増やさないため、放流または釣ったものを放さない条例を作ってはどうか

—— 外来魚を増やさない

議員

今、全国的に問題になっている外来魚の件でお伺ひいたします。本町にはジャンボタニシの問題もございすが、本席では外来魚に関して町長のご所見をお伺ひいたします。この件につきまして琵琶湖を始め全国的な問題となり、二年前になりますか、外来生物法が施行され、全国的に駆除活動が行われています。ちなみに外来生物法は、蛇足といつてお叱りを受けるかも知れませんが、あえて申し上げますと、日本在来の生態系を損ねたり、人や農林水産物に被害を与える恐れがある外来種で、これを特定外来生物と指定をいたしまして、その飼育それから栽培、保管、運搬、輸入を原則禁止する法律でございします。この法律があるわけですから、ことさら私たちが何かを作つてという必要は無いと言われるかも知れませんが、それでも一考して見る必要があると考えます。国交省が毎年調査を行つています

相野谷川でも、近年魚が減少したとの指摘がございます。

数年前、相野谷橋下流での定点観測で外来種が確認されています。今年の調査では初めて手長エビがありませんでした。エビ類はブラックバス等の好物といわれています。本川でも少なくなっているといわれています。熊野川全体としては、ダムの上流と下流では意見を異にするかも知れませんが、私共の下流域としては減っている在来魚のことを考えると外来魚を減らさなければと考えます。釣ったり、採った場合は放さない、放流しない。法律で禁じられているところであるが、それだけでは関心の程はもう一つです。この啓発の意味を込めて町で条例を制定してはどうか。町だけでなく関係自治体との関連の中でお考えいただきたい。

担当課長

外来魚については、外来生物法、三重県自然環境保全条例及び三重県漁業調整規則による制限があります。これらには罰則規定も設けられております。特定外来種の繁殖を抑制するため、生息する

個体数の低減及び生息域の縮小に必要な施策を講ずるよう努めるものとする条例等があります。釣った魚を放さないために生息する周辺地域の河川、池等を管轄する市町村、広域的な流域にありまます県、漁協とも調整、連携を図りながら広域的に進めていく必要がありますので、外来魚を増やさない条例化につきましても今後、国、県、隣接市町と共に検討していく必要があると考えます。町内では平見池、大村池には啓発のための明示をしています。

町長

三年前に外来種の確認されたことも、魚の減少が外来種によるものかも私ははっきりと把握していない状況です。外来種の法律等による啓蒙、啓発はしていかなければならないと考えていますが、まず調査研究をしていく必要があると考えます。

議員

この問題については熊野川懇談会の国交省の資料の中に出ております。どのような調査研究をなさるのか分かりませんが、できるだけ早く進め

ていただきたい。もう一点、外来魚が繁殖する条件があります。相野谷川に相当の堆積が見られます。そのため草木が茂り、ワンドができています。調査をされている先生によるとこの状況が非常に悪いとのこと。この浚渫については洪水絡みの中で何度もお願いをしているところであります。この件についてどう取り組んでいきますか。

担当課長

浚渫については再三お願いをしているところですが、国、県共に予算縮小のためなかなか手を付けていただけないのが現状です。しかし洪水時の氾濫また環境面など考えると堆積土砂の計画的な排除を重ねてお願いしてまいります。

議員

今では毎日のように釣人が居ます。町も県も国も意図的には注意を促していないでしょう。法律を作っても何もしなかったら作らんのと同じです。町長も考えてみると言っても何もしなかったら同じです。どうぞ肝に銘じていただきますように。ありがとうございます。



平野 美津子 議員
・紀州製紙6号導水トンネルについて
・浄化槽整備PFI導入について

紀州製紙6号導水トンネル

議員

八月二十日、日本の国道問題研究会の元会長で、日本地質学界の第一人者と言われています京都大学名誉教授の志岐常正先生に同伴させていただきました。まなびの郷付近の地質構造、鵜殿港に津波が押し寄せて来たかどうか等、質問させていただくと共に、飯盛地区、神内川流域、紀宝バイパスの国道トンネル付近全般について、先生のご指導を受けながら視察させていただきました。

きました。紀州製紙導水トンネルの後遺症ではないかと思われる地盤沈下、異常現象がありました。紀州製紙の導水トンネルは国道付け替え道路のトンネルの試験版であると志岐先生はおっしゃっておられました。このような被害に対しても、町当局は適切な対処をしております。特に町の分譲地を購入して家を建てられた方々は、急傾斜の岩の上に厚い土砂が乗っていて、導水トンネル工事のときの発破の振動がすごかったもので、今度の国道付け替え道路のトンネル工事で崩れてこないか大変心配しています。この紀州製紙導水管の安全性、その他、町長の現在の判断をお聞かせください。

町長

私共としては調査する権限はないわけなので、危険な状況を確定するには調査の上でないと難しいと思います。企業に聞き取りをしましたところ①当社工場にとって導水トンネルは生命線となる非常に重要な施設であり、必要な点検は抜きなく実施しております。崩壊などの心配はない。②6号導水トンネル上部に紀宝バ



イパストンネルの整備を予定している国土交通省は、当施設の重要性を十分認識している。③万一工場への送水ができなくなれば企業の命取りとなり、甚大な被害の発生が懸念されるため、万全を期した工事計画が進められており、我々は全く心配していないとお話でした。地域住民の皆様方が安心して生活ができる体制を取っていく意味で、企業に対して導水トンネルの維持管理を徹底していただくよう申し入れをしつかりとしていきたい。

議員

町として調査できないというのですが、監督官庁はどこですか。

担当理事

経済産業省の所轄となっております。経済産業省においてそれらに対する法令が出ております。

議員

町から調査依頼はできますか。

担当理事

住民の意見が出ていることをお伝えできるのではと思っています。

議員

導水トンネルがどこを通っているか確認されたことはありますか。

町長

鵜殿地区は大体分かりますが、旧紀宝地区は図面で見させていただいたことがあり、そういった中で把握をしています。

議員

蓮池が陥没していたり、田んぼに水が引けなかったり、地盤沈下のために塀が沈んでいます。擁壁から水が溢れ出ているところもあります。防災の点からどのように考えら

れますか。

町長

その当時の工事の状況は分からないわけであり、想像ですが、その当時、それぞれの工事等の中で、いろいろ地元の皆様方にも説明があったのではないかと思います。地権者との皆様方とも理解をされる中で、工事にかかれたのではないかと思います。そういった中で対応をしてこれたのではないかと思っています。

議員

志岐先生の見解では、紀州製紙の導水トンネル水漏れ発生は時間の問題。紀州製紙は津波襲来るとき、薬品倉庫の崩壊の恐れあり、鵜殿港は津波襲来のおり防潮扉が自動操作しなくなるのではないか。大地震による液状化現象が鵜殿地区で多数発生する。まなびの郷周辺は液状化の危険地域である。盛土のせいで地盤は軟弱。飯盛地区トンネル、下地地区坑口付近、道路の半分が急な坂で津波の水位は大幅に上がり被害は深刻。鹿ノ毛地区は広範囲にわたって、液状化の最も高い地域の一つである。この地区の上部にある町道の中央部に亀裂が入

っている。崩壊の前兆である。

このことについて地域住民の方は深刻に受け止めております。導水トンネルの調査依頼を国にしたいだけかもしれません。ようか。

担当理事

国土交通省が国道付け替え紀宝バイパスと交差する部分については、十分な調査をされると考えております。

町長

民間企業の施設等でございますので、しっかりと管理していただくよう申し入れていきたいと思っています。

議員

紀州製紙さんが地域の皆様方と話し合いされるよう町からお願いしてください。

担当理事

確かに民間企業と行政の関わりになるうかと思えますが、要望があるということはお伝えします。

議員

思い起こせば紀宝バイパス建設が発表され、住民四百名の方が原告に立たれ、有権者の八十五%以上が反対に署名され、当時の岩本町長が、住民が一人でも反対すれば紀宝バイパスは通さないと演説さ

れたとの話が残っています。もう一度防災の面からも、住民が安心して暮らせる地域づくりに努力していただきたいと思っていますのでよろしく願います。

浄化槽整備 PFI導入

議員

公共事業の民営化は、国が率先して出した計画ですけれども、参議院選挙において国民がノーという意思表示を示したのではないのでしょうか。

このPFI事業は、一つの事業に多くの関係者がそれぞれの立場で参入することが特徴です。当事者間の利害は一致せず、自治体を除いては利益を得ることが市場の目的ですから利益の分配等で相反する事業であると思います。この事業を始めれば十年は後戻りできません。十年間に起こるリスクを研究しなければなりません。

※この他に、子供の遊び場の夏休み等の閉鎖の件、町有地貸与の件、議会の公開の件について質問がありました。



第3回定例会

可決された議案

- 政治倫理の確立のための紀宝町長の資産等の公開に関する条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険条例の一部改正
- 紀宝町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 紀宝町ごみポイ捨て防止条例の一部改正
- 紀宝町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 紀宝町ウミガメ公園の指定管理者の指定
- 平成十九年度一般会計補正予算
- 平成十九年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成十八年度歳入歳出決算の認定
 - ・ 平成十八年度の一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、診療所事業特別会計、井内地域開発事業特別会計及び水道事業特別会計の合計六会計決算を認定しました。
- 人権擁護委員の推薦について意見を求めること
 - ・ 大岡春雄さん（鵜殿）を推薦することに同意

意見書

- 道路整備の財源確保を求める意見書
- 熊野川河口大橋の建設を求める意見書
- 「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率二分の一への復元」を求める意見書
- 「三十人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書
- 「『学校安全法』（仮称）の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書

編集後記

季節柄、風邪を引きやすい時候になりましたが、皆様体調はいかがですか。

近頃は、大地震が来るという予測がよく報道されているが、いつ来るか分からない大地震に備えて、地震対策だけは十分にしておかなければならないと思います。

九月九日総合防災訓練が紀宝町で実施された。今回は陸上自衛隊も協力、倒壊家屋救出訓練、二村理事によるトリアージについての説明、初期消火訓練等、住民・行政・自衛隊が一体となって活動した。

午後からの救急講演会で講師川口先生は、「来るべき大地震、大津波に備えて」をテーマに、過去の地震を紐解き、地域で行う対策の重要性を述べた。

普段、できることをあらかじめ行っておく、住民の皆様と行政が一つになって、災害に強い紀宝町になることを切に願っています。

（文責 市川）
「議会だより」（第6号）

編集委員

市川 潔・門脇 庸二

地案 光徳